

基本理念

水素エネルギーで未来を拓く 水素先進都市「周南」

地域の副生水素を最大限に活用し、**2050年の水素社会を見据えた基盤づくり**を推進

計画の基本目標

- 水素の利活用促進に向けた環境の整備
- 水素の利活用による低炭素・省エネ・災害に強いまちづくりの推進
- 水素関連ビジネスの創出と市内企業の連携・競争力の強化

施策の展開

(1) 水素サプライチェーンの充実

- ア 安定的な水素調達・供給体制の確立
- イ 安定的な水素需要の確保

(2) 水素を活用した地域づくりの推進

- ア 都市エリア
- イ 港湾エリア

(3) 水素関連産業等創出に向けた環境整備

- ア 水素関連人材育成と活用事業の充実
- イ 技術開発・実証プラットフォームの推進
- ウ 水素関連産業への支援充実

(4) 市民・企業等への普及・啓発事業の強化

- ア 水素エネルギー学習環境の整備

基本指標	2030年 目標値	R6 実績値	R7 実績値※
① <u>水素ステーションの設置数</u>	2カ所	1カ所	1カ所
② <u>燃料電池自動車、水素自動車等、車両数</u>	200台	52台	54台
③ <u>定置用燃料電池数（「エネファーム」等）</u>	1400台	524台	546台
④ <u>水素関連産業参入事業者数</u>	20事業者	12事業者	14事業者
⑤ <u>新規水素利活用実証事業数</u>	5件	3件	3件